

第60回記念太玄会書展

董事・運営委員

鈴木暎華

西蜀極極也。自紅禁入。相贈清箱。以龍如
田。初富然。仍破羊。和自國。誤作。回信。吹賜
香。門。六。省。通。朝。擊。樂。天。以。水。七。金。盤。若。助。登
消息。此。日。步。新。任。始。蓬。暎華年六

理事・運営委員

大場大幹

心園三千里。雲龍抱。擊。包。公。國。書。好
共。傳。別。無。惜。響。下。球。能。細。結。先。朝。舊。鳴
報。燈。何。中。公。香。起。星。斗。天。的
大幹年六

理事・実行委員・当番審査員

黒田桂泉

初を花を市あつ阿市村
 月さみけしつろりよまの
 せしり物さし来
 らあふ

理事・実行委員・当番審査員

西澤厚子

東海次百道喜あ右望牛門子色留家左晋中
 日日到来来江上第一(一)川原橋院浮
 雲外宮の糸糸羊五路照日語念為雪
 逢古雄留将素髪外あ春の并 厚め

理事・実行委員

片倉道子

未だかよ海は第な女ふと思ふかる夕日に白銀
 の縮衣巾がせいまをそに花摘みよからかく愁云
 かくや聴くらん夏南極星下われと思ふのこころ

理事・実行委員

大河原 由佳

佳者多如竹 少芳林 抄緑花 紅看魏 書今日
兒吹甲上 在草味 燕語伴 仿神 正雲牙
感人 海涉從 未若春光 玉如苔 由佳書

理事・実行委員

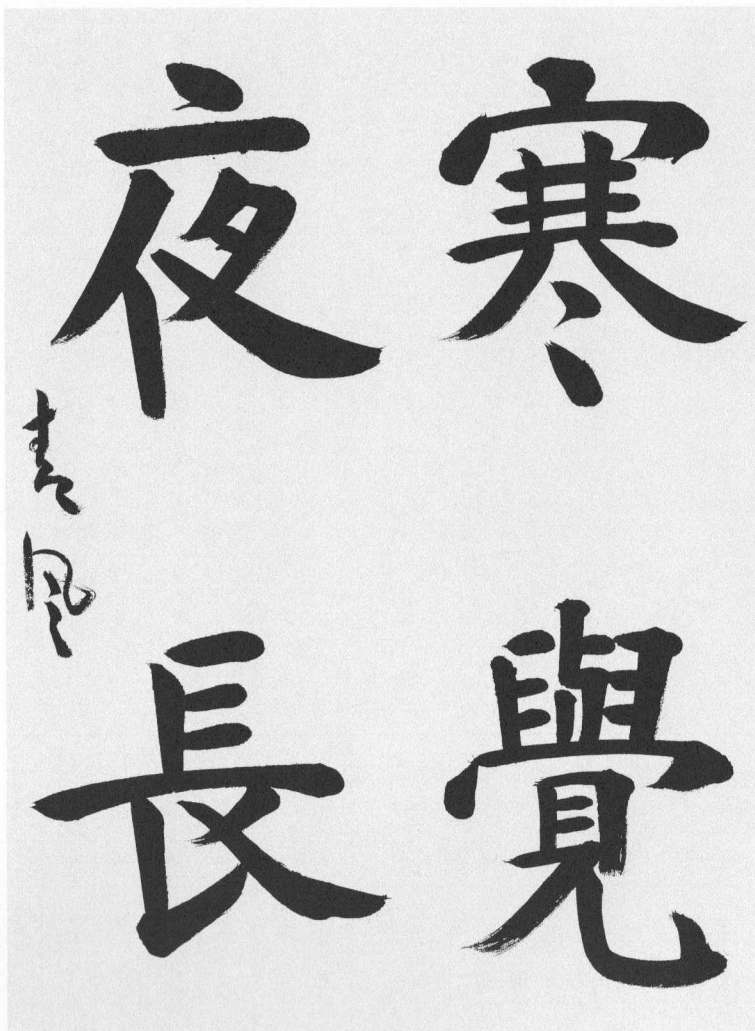
川端 敏江

芳翰 平揉月 出江第 五借 春序 云平 委家
忙武 勇博 送爾 驚者 外涉 抄楷 弟傾 湖蓮
張樂 地心 幽汗 舟以 送謂 越人 多論 轉謝
眺清 滄浪 互有 必寄 入揮 弘夢 李白 詩表 書

理事・実行委員

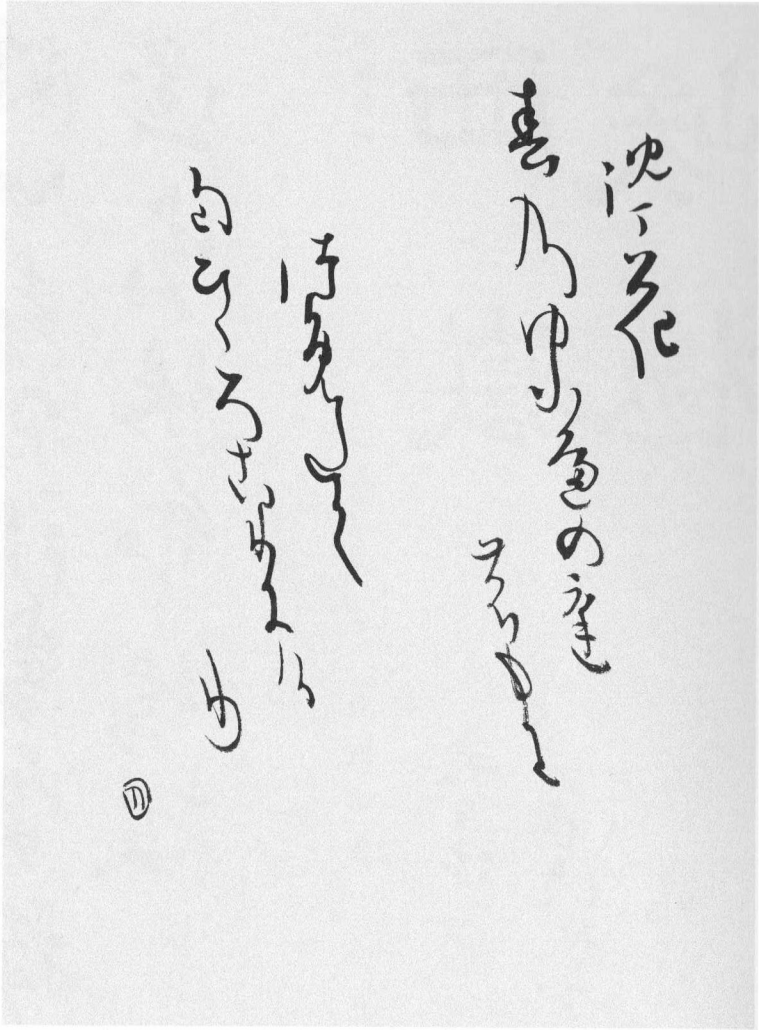
志村 惠風

逆及 潛雲 味野 液 不 數 過 月
醉 梅 花 梅 花 清 水 香 搭 舟 如
野鳥 穿 林 語 喚 人 由惠風書



かんよるのながきをおぼゆ（冬の夜は寒く長く感じる）

2 月 末 日 締 切



沈丁花春のゆふべの庭の面もにつめたく匂ひひろごりにけり（金子 薫園）

〔乃〕

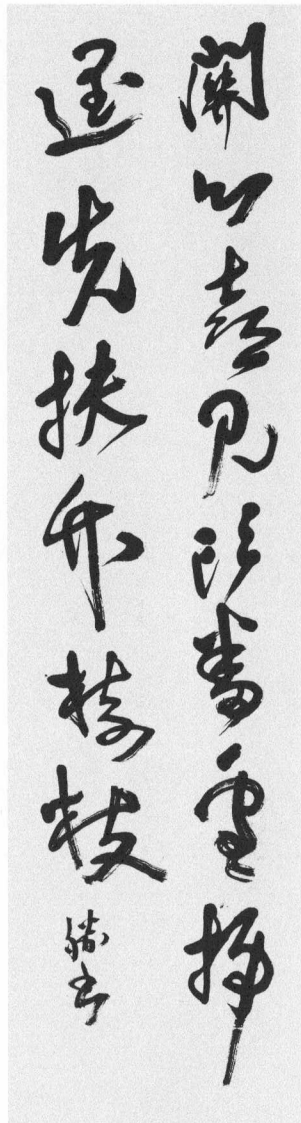
〔農〕〔爾〕

〔多〕〔久〕

〔舌〕〔利〕〔企〕

〔一般部〕条幅部参考

景堂書



閑心喜見頭番雪、掃徑先扶竹樹枝。

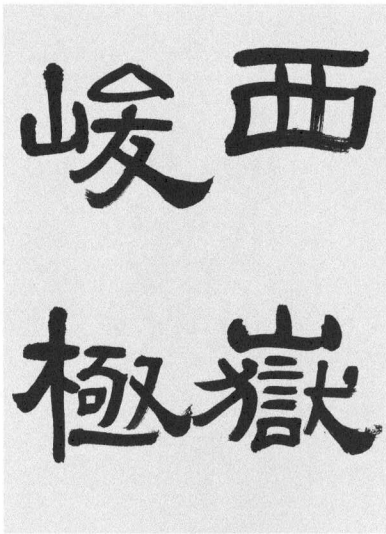
(こころにかんしよろこびみるとうばんのゆき) (けいをほらいますずたくちくじゆのえだ)

半紙参考

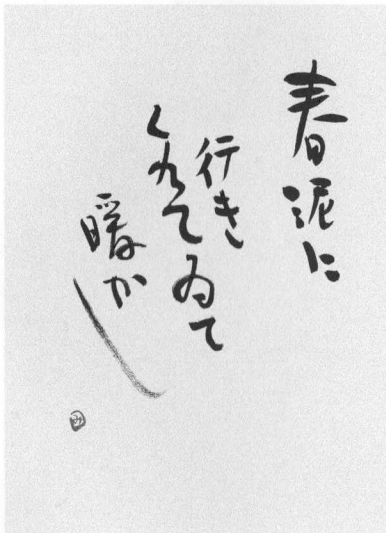
景堂臨

新調和体

片倉道子書



臨西嶽華山廟碑



(中村汀女)

〔学生部〕
中学部課題

西澤厚子書

音旋
樂律

小学中級部課題

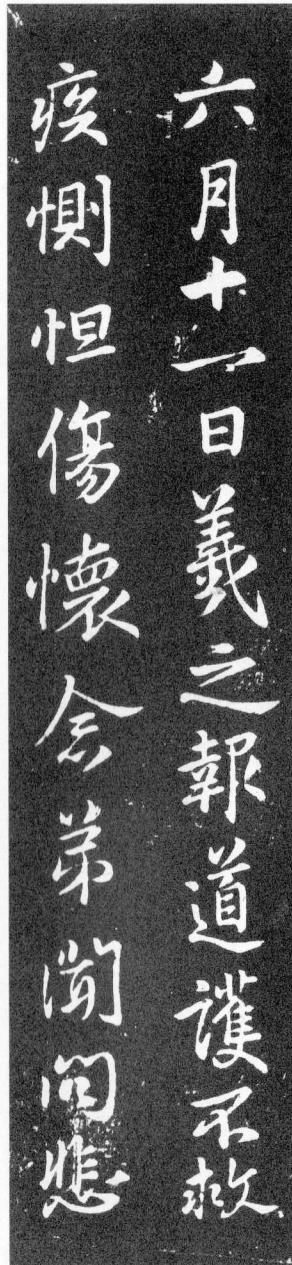
一番
しぼ

小学上級部課題

最前
札つ

小学下級部課題

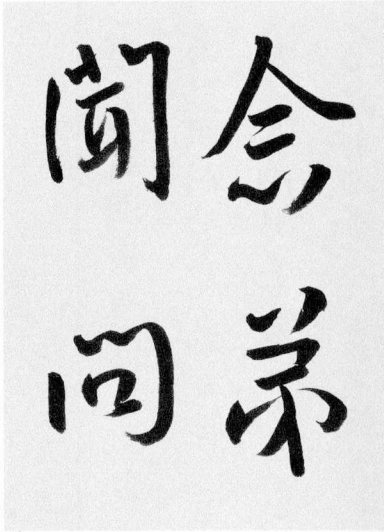
ほん



課題参考

映華臨

出品規定



●「念弟聞問」

（弟の聞問を念うに）

（半紙版）に書き無記名にて出品のこと。

（但し裏面左下に鉛筆で記名、支部名、規定部段級も記入のこと）

●級位を定めず毎月A B C D級の順位をつける。

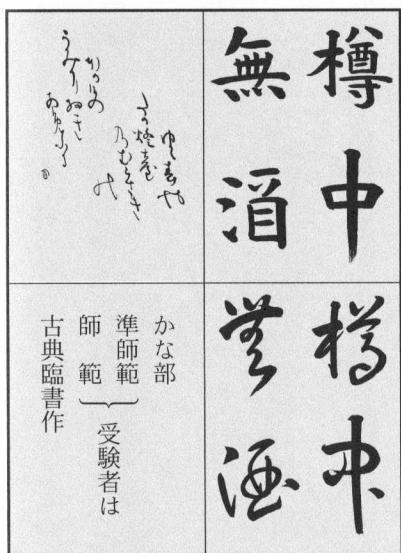
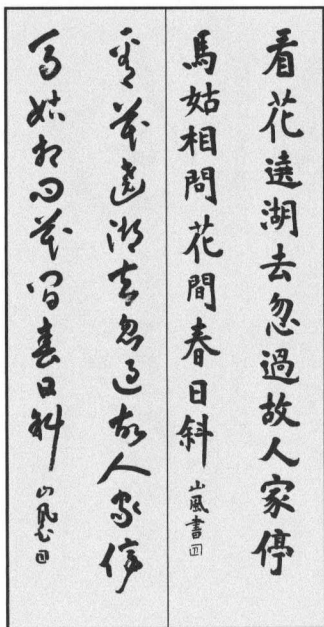
●規定以外の場所に書いた場合やオモテに記名した場合は没書とする。

●研究出品を期待します。

平成三十一年春季昇級試験課題

(縮切・平成三十一年四月五日)

発表 五月号



一般部

◇半紙(漢字)

課題 樽中無酒(楷書と草書の二体)

△必ずタテにつないで出すこと(セロテープでよい)

△出品料 有級者五、〇〇〇円。有段者六、〇〇〇円。

△楷書作品に必ず支部名(又は地名) 現段級、姓号明記のこと。

◇かな部

課題 ゆく春やたか燈臺のむらさきの

ほかげのうみに細きあめふる

△出品料 有級者五、〇〇〇円。有段者六、〇〇〇円。

△作品に必ず支部名(又は地名) 現段級、姓号明記のこと。

◇条幅部

課題 看花遶湖去忽過故人家

停馬姑相問花間春日斜

△楷書と草書の二体(楷書作品の下部左方に支部名又は地名、

現段級、姓号明記のこと。)

△出品料 有級者六、〇〇〇円。有段者八、〇〇〇円。

△縮切は平成三十一年四月五日厳守のこと。

△合格者は五月誌上发表する。希望者には内規により資格証

を出します。(一般部三、〇〇〇円。学生部一、〇〇〇円)

△成績優秀者は相当段級に昇級。

手本、希望者は半紙一枚一、〇〇〇円。条幅一枚四、〇〇〇円

を添えて本部又は塾長あて申込むこと。

●出品料は必ず作品提出の際納入して下さい。

●右規定に違反の場合は理由は理由の如何を問わず受付ません。

お含みおき下さい。

農 場	經 営
水 温	の 度
戸 を	開 く
ゆ び	

学生部課題

- ◇ 中 学 部 農場経営
 - ◇ 小学上級部 水の温度
 - ◇ 小学中級部 戸を開く
 - ◇ 小学下級部 ゆび
 - △課題を半紙に書いて下さい。
 - △出品料 各部共七〇〇円。(特待生受験者は三、〇〇〇円。)
 - △作品の左下に段級、学年、氏名をはっきりかくこと。
 - △成績優秀者は相当段級に昇級します。
 - 出品料は必ず作品を出す時におさめて下さい。
 - 支部長各位は必ず出品者名簿を作品と同時に提出して下さい。
- 右規定に違反しますと受け付けませんからよく注意して下さい。

平成三十一年度春季 師範 準師範 試験課題

- ◇半紙(漢字)部
- 課題 樽中無酒(楷・行・草の三体)
- 準師範受験料 二〇、〇〇〇円
- 師範受験料 三〇、〇〇〇円
- △必ずタテにつないで出すこと。(セロテープでよい)
- △楷書作品に必ず支部名(又は地名)現段級、姓号明記のこと
- ◇かな部
- 課題 ゆく春やたか燈臺のむらさぎの
ほかけのうみに細きあめふる
- 準師範受験料 二〇、〇〇〇円
- 師範受験料 三〇、〇〇〇円
- △かな部師範準師範受験者は右課題(目運)と古筆の臨書を
半紙に書き提出のこと
- △作品に必ず支部名(又は地名)現段級、姓号明記のこと
- △必ずタテにつないで出すこと。(セロテープでよい)
- ◇条幅部
- 課題 看花遼湖去忽過故人家
停馬姑相問花間春日斜
- 準師範受験料 二〇、〇〇〇円
- 師範受験料 三〇、〇〇〇円
- △楷・行・草の三体(楷書作品の下部左方に、支部名又は地
名、現段級、姓号明記のこと)
- ◎締切 平成三十一年四月五日厳守の事。
- ◎出品料は必ず作品提出の際納入して下さい。
- ◎右規定に違反の場合は理由の如何を問わず受け付けませんから
お含みおき下さい。